

CONDENSE (PFDの3. 1のデータセット圧縮) の失敗

【問】 PFDの3. 1 (ライブラリユティリティ) の圧縮操作 (CONDENSE) 中にCPU TIMEオーバーになりTSSセッションが異常終了してしまった。次にLOGONしてそのデータセットの中のあるメンバーをEDITしようとしたらメンバー名が残っているにもかかわらず、メンバーの中味が空になってしまっていた。このような場合の処理は？

【答】 PFDの3. 1の圧縮操作中に異常終了して、上記のような症状になった場合、それらのメンバーを復旧することは不可能です。このようなことを防ぐには圧縮操作を行う前にTSSコマンド画面でTIMEコマンドを入力すると次のメッセージが表示されます。

TSSコマンド ==> TIME

TIME-102607 CPU-000350 SERVICE SESSION-014001...

下線部のすでに使用したCPU時間を確認します。通常ユーザはLOGON時にCPU時間を指定しないと5分になるのでCPU時間が4分30秒ぐらいをすぎている場合はLOGONしなおしてから、あらためてCONDENSEして下さい。またセンターのサービス時間の終了まじかで、LOGOFFを促すメッセージが端末に表示されるような時間になった場合も圧縮操作中に強制的に終了させられる場合があるのでその時間帯を避けるべきです。

【Y. T.】